

太田青年会議所設立趣意書

われわれ青年は現在直面する混頓たる世情を広く見聞し、また自ら体験を重ねてゆき、これらの問題に対していかにこれを打開していくかを考え努力することがわれわれ青年にあたえられた使命であると痛感するものである。

われわれ青年は日本の経済の進展とわが郷土繁栄のにない手として将来国民全体の信頼と期待が注がれていることを自負し、その責務に万全を期すべきである。しかしながらそれらのことを個々に考え、判断するのではなくあくまで若い力を結集して問題の解決に当るべきと思う。

それは即ち自己の会社または自己の家庭中心の観念にとらわれることなく常に眼を開き国内的に、そして国際的にもその見聞を求める必要がある。

また、諸先輩、学識経験者と接触し、その識見を高め、われわれ青年に共通な崇高なるビジョンを追及していくにはひたむきな情熱をもやすことによって無限の可能性が開かれるのではないかと思う。

それには、あらゆる機会をとらえて自己を修練し、社会に対して奉仕の精神をきずき、個々の友情を深め一致団結し、意義ある太田青年会議所を設立するものである。そしてわが国はもとより広く世界の青年と提携し国際的理解と親善をより深めていくことである。

昭和40年1月12日 発起人一同